～～

対面リーディング通信

2014年
6 月

2014年6月1日 発行　　第１５５号（隔月刊）
～～～

2013年度の統計がまとまりました

○件数について

２０１３年度の延利用者数は1，０８３件（約９０件／月）で、１２年度より７８件（人）減りました。

分類別利用者合計は1，３５５件で、前年度に引き続き１回２時間の間に複数の内容で対面がおこなわれていることがわかります。対面は初見で読んでいただくことが原則ですが、複数の希望が入ることで、あらかじめ読む資料の確認が難しくなりました。

○利用者数

実利用者数は昨年度より５名増え、５１名でした。若干人数は増えたものの、昨年の利用上位の方にも変わらずご利用いただいていますので、新規で利用される方はほとんど増えていないのが現状です。

○利用状況

２０１２年度と比較すると、「新聞」「代筆」が増えています。特に「代筆」は約２倍になり、対面リーディングの「読む」以外のニーズが増えつつあることを示しています。

読んだ資料の「分類」に関しては、どこに分類されるのかがわかりにくい図書・資料も多いと思います。過去の統計データと比較できる範囲で、少しずつ分類をわかりやすくするように努めています。分類の記入で迷われたときは、職員にご相談ください。

○ボランティア数

１３２名（登録ボランティア数１５３名）のボランティアの方にご協力いただきました。

また、２０１３年度は対面の初心者向け講習会を２回開催し、２１名の方に新規ボランティアとしてご登録いただきました。

今月号の主な内容

2013年度の統計がまとまりました			１
対面リーディングの難所物語	耳で読む劇画の世界	二村　晃	４
誌上勉強会	図表の読み方　４	木村　謹治	５
私のふるさと	私のふるさと	佐々木　順子	９
寄り道・回り道	U:PONTE VECCHIO（ウ ポンテ ベッキオ）	木村　謹治	１０
情報発信	バスで巡る読めない地名	木田　陽子	１１
専門音訳講習会　受講者募集のお知らせ			１２
４月から担当が変わりました			１２

2013年度 対面リーディング利用状況報告

		分　　類	2013	2012
新聞・雑誌	１	新聞	１８０	１４３
	２	総合雑誌	６８	９６
	１２	鉄道雑誌・時刻表等	１１	３
	１３	スポーツ・スポーツ誌（競馬・相撲雑誌等）	４３	３３
人文・地歴・哲学・社会	４	哲学･心理学・宗教	２９	３０
	５	伝記・歴史・地理（旅行ガイド等を含む）	８４	５９
	６	社会科学（社会福祉・政治・経済・株式）	１０１	９２
文学・芸術	１４	芸術一般・芸能・音楽（楽譜等）	２９	５６
	１６	文学・エッセイ	３３７	２６４
	１７	短歌・俳句・川柳・詩	６	２１
科学・医学・技術	７	東洋医学	２	０
	８	西洋医学	２	５
	９	数学・科学・物理・生物ほか	１４	１３
	１１	工学（コンピュータ・無線等）	１	１
資格・検定・語学	３	資格試験問題	１４５	２９７
	１５	語学（英会話・TOEIC 等）・外国語	１２０	１４５
生活一般	１０	家事・育児・料理	９	３
	１８	各種取扱説明書（携帯電話等）	８	９
	１９	チラシ・手紙・ＤＭ・パンフレット等	８３	９８
その他	２０	代筆	７４	４３
	２１	コンピュータ補助（データ修正等）	９	１７
	２２	その他	０	５
		合　　計	１３５５	１４３３
		延利用者数	１０８３	１１４９

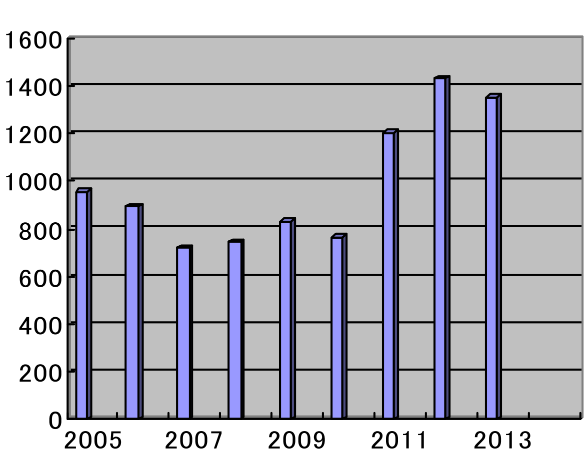
年度別利用ベスト５

2013年度	2012年度	2011年度
① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ 資格試験問題 ④ 語学・外国語 ⑤ 社会科学	① 資格試験問題 ② 文学・エッセイ ③ 語学・外国語 ④ 新聞 ⑤ チラシ・手紙など	① 社会科学 ② 語学 ③ 資格試験問題 ④ 文学・エッセイ ⑤ 総合雑誌

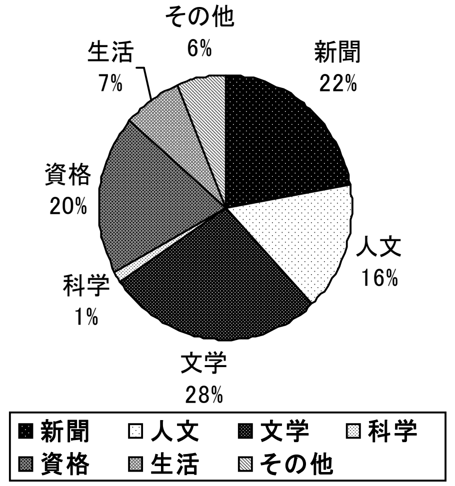
2010年度	2009年度	2008年度
① 資格試験問題 ② 文学・エッセイ ③ チラシ・手紙・ＤＭ ④ 社会科学 ⑤ 総合雑誌	① 文学・エッセイ ② チラシ・手紙・ＤＭ ③ 総合雑誌 ④ 新聞 ⑤ 資格試験問題	① 新聞 ② 文学・エッセイ ③ 総合雑誌 ④ チラシ・手紙・ＤＭ ⑤ 資格試験問題

2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	分類
６７	４８	６２	１６８	２１３	１９５	２１６	２０２	１
８５	７１	８１	１２０	１０１	１０２	１０５	６９	２
１	５	３	１	３	４	４	３	１２
１３	２	１	１２	１６	１９	１８	３３	１３
１９	２０	２２	１３	３１	１９	３５	１６	４
３０	５７	２７	９	１２	１２	１９	５７	５
１９３	９３	４２	１３	３７	２２	５０	５７	６
３９	１５	８	１２	４	２７	４１	４３	１４
１２９	２１４	２０７	１３０	８９	９１	８４	１５０	１６
１７	１３	１６	３０	２３	１８	２２	２０	１７
５	４	３８	１１	８	２４	１０	１２	７
３	６	１９	２３	３	１１	２６	９	８
４	２	６	１	１	３	５	３	９
４	１２	０	４	３	３	１	１０	１１
１６４	２２２	４０	６６	３	０	７	４２	３
１６７	９９	５３	４１	５１	３０	７３	５２	１５
２	６	２	２	２	１	２	０	１０
９	１９	６	７	６	６	１０	２４	１８
８２	１３０	１１６	１１８	１１５	１１３	１３６	１１８	１９
３６	３７	１５	４０	１５	１８	２６	３３	２０
３	２	３	１３	８	４	３	３	２１
５	１２９	－	－	－	－	－	－	
１０７７	１２０６	７６７	８３４	７４４	７２２	８９３	９５６	
１０４３								

年度別　利用件数の推移



分類別　利用件数の割合



［注］資格試験の主な内容は行政書士、福祉住環境コーディネーターなどです。

77. 耳で読む劇画の世界
ゴルゴ１３シリーズにまた新しい名作が登場!

二村（ふたむら）　晃（あきら）

　毎年、ゴールデンウイークになると、『ゴルゴサーティーン』の新しい魅力的な作品を音訳して送って頂くようになって、もう６年になります。昨年は世界史最大の謎とされるロシアロマノフ王朝の財宝の行方について、とっくりと解き明かして頂きました。そして今年もまた、昨年と同じグループＮ‐Ｂｕｎの西村道子さんが、福島原発事故を予言したかのような物語、『２万５千年の荒野』を送って下さったのです。

　1984年の作品ですから、30年も昔に、停電事故がもとで減圧・冷却装置の制御が不能に陥った発電所が原子炉の高温高圧による爆発の危機をどう防ぐか？　襲いかかる水素爆発・水蒸気爆発をどう切り抜けるのか？ゴルゴ13の神技的な射撃の腕もさることながら、こんなお話を構築した作者さいとうたかを氏の溢れる鬼才には、すっかり感服しました。ところがこの作品には、きむらはじめという原作者が居て、私と同じ電通に勤めていたというのです。東京電力の幹部や、政府首脳に東日本大震災の前に読ませたかったこの物語を東京本社でＰＲの仕事をしていた電通社員が考え出したというのだから驚きました。

　話はロサンゼルス五輪の２週間前、原子炉アポロン１号機の運転開始を七日後に控えて慌ただしいロス郊外のＧ＆Ｅ社のヤーマス発電所で始まります。クレーンでパイプを運搬中の作業員が、操作を誤ってだるま型の「圧力逃がし安全弁」に、パイプを激突させたのです。安全課長のバリーは逃がし弁のレントゲン検査を要請しますが、通常運転の開始が遅れるのを恐れるジョンソン所長は許可しません。そして、バリーが危惧していた事故が運転開始のパーティの日に起きてしまうのです。

　運転開始の直後、突然の停電によって冷却水の循環が止まり、発生した高温の水蒸気が原子炉の容器にも詰まって、緊急冷却水が入らない事態が起きたのです。逃がし弁が起動しません。炉内の圧力と温度はどんどん上昇し、冷却水喪失による原子炉爆発の危機！

　広島原爆の200倍から400倍の放射線量がロサンゼルスを襲い、死の灰で地上や海、河、大気……あらゆるものが汚染されます。原子炉のウラン235は分裂して、プルトニウム239になりますが、その半減期は２万５千年！　ロスは２万５千年の荒野になるのです。

　この危機をどう乗り切るのでしょう。それはデージーをお聴きになってのお楽しみに。

　今回の音訳では、作業溝の上に射撃手のための足場を作るため、所員たちが板や器具を持って、放射能が充満して危険な工場内に突入するパート16のシーン68コマと、ゴルゴがサージ管を狙撃するパート17のシーン32コマは、緊迫感を壊さないように、コマの番号をカットして読まれました。聴き手の気分を考えたこの配慮、本当に嬉しいですね。音訳の西村さん始め、チームリーダーや校正の皆さんに、改めてお礼を申し上げます。

　また、自動車の音や工場のドアの開閉音、機械の運転音など、擬音の表現に力を入れて読んで下さいました。場面転換のアクセントとして、いい効果音になっています。

　「耳で読む漫画の世界」、どんどんレパートリーが拡がっていきます。有難う！

誌上勉強会

木村 謹治（きむら きんじ）

図表の読み方 4

ー 形を説明するか、内容を説明するか 2 ー

図表の読みも４回目を迎えます。ここでもう一度、原則を確認したいと思います。
図表の例題の読みは紙面の関係上、標題や出典などの説明を省いていますが、**原則として「標題や単位、出典」などは読む方がいいでしょう。**文章の流れや文中に表記されていたりして、読む必要のない場合もありますので、あくまで原則です。その時々に考えて下さい。

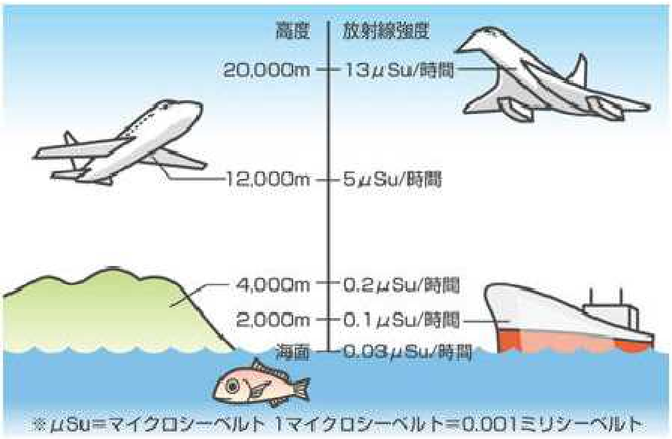
また、ここに書いていることは一つの例であり、共に考えていくための問題提起でもあります。図表は同じように見えても、それぞれ特徴があります。ここでの説明や皆さまの意見を参考にしながらも、個別に考えて行く必要はあります。
しかし、対面リーディングは限られた時間内に読まなければならないし、下読みできません。そこに難しさがあり、面白さがあります。

［例１］　おもな豚飼養地

この絵グラフを読む時に、「豚の絵が描いてあります。豚１匹が１０万頭を表しています。鹿児島県は豚の絵１３匹・・・」とは読まないほうが一般的です。「豚の絵」に引きずられてしまうと、本来伝えたい数字がわかりにくくなることもあります。

ただ、対面の場では、絵の説明を絶対にしてはいけないことはありません。限られた時間の中で細かく「豚の説明」をしても本来の絵グラフの内容とかけ離れてしまいますが、わかりやすく、また見やすくあらわされた表であることも情報の一つとしてとらえ、簡単な説明を加えてみても良いと思います。
例えば「豚1匹で10万頭が表されているグラフです」「書かれている数値を読みます。鹿児島県は1,319,000頭」というような読み方です。
あくまでも豚の絵は数の差を視覚的に見やすくするものですが、必要に応じて目の前の利用者さんにお伝えいただければ、より内容も伝わる場合があります。

［例２］　宇宙からの放射線



地球には、太陽系や銀河系宇宙から常にいろいろな放射線が降り注いでいます。高度の高いところでは放射線（宇宙線）を地上にいる時よりも多く受けることになります。海外旅行で飛行機に乗ると高度１万メートル以上の高度を飛行しますので、地上の約１５０倍の宇宙線（海面:　0.03マイクロシーベルト／時、１万２千メートル:5マイクロシーベルト／時）が降り注ぐ場所を通ることになります。

例えば東京～ニューヨーク間の往復では0.19ミリシーベルト多く放射線を受けます。人間ドックで胸のＸ線写真を１回撮ると約0.05ミリシーベルトの放射線被ばく量ですから、X 線写真約４回分に相当します。

さて、上記の例はどのように読みますか。昨年の図表の勉強会の時に、複数の方に読んでいただきました。読み方は人それぞれですが、大多数の方は図（絵）の説明をされていました。

『海が描かれていて、海中には魚が泳いでいます。海面には船が浮かび、山が書かれています。上空にはジェット機が飛び、さらに上空にもジェット機の絵が描かれています』と。図の説明と共に高さを読まれる人もありました。果たして、図の説明は必要でしょうか。全く無視することは不可能ですが、図に引きずられることはないでしょう。

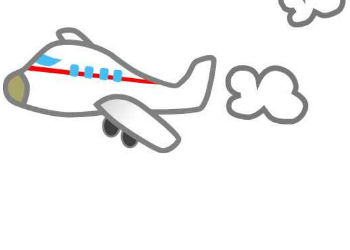
例えば、次のように読む方法があります。

『高度による放射線強度の違いを示した図があります』『海面は時間あたり0.03マイクロシーベルト、2000メートルの高さでは0.1マイクロシーベルト、4000メートルの山頂では0.2マイクロシーベルト、12,000メートルの上空を飛ぶジェット機は５マイクロシーベルト、20,000メートルの高度を飛ぶジェット機は13マイクロシーベルトの放射線が降り注いでいます。高度が高くなるにつれて数値が高くなっています。』

図を詳しく説明する必要はないと思われますが、12,000m や20,000m はジェット機の飛ぶ高さだと説明する方がいいでしょう。この高度で飛行機が飛んでいるのを理解することで、数値をより具体的に感じることができます。

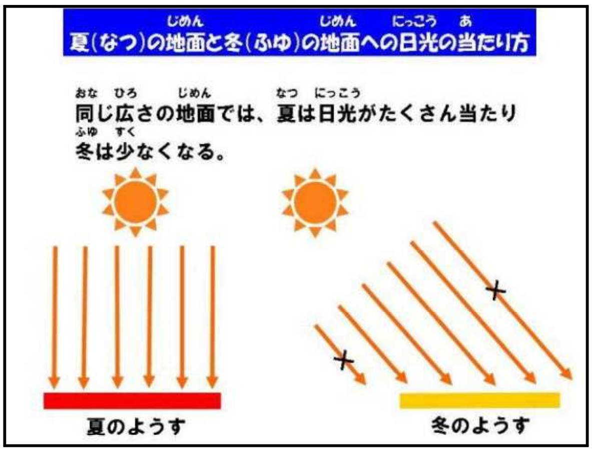
反対に、4000m や2000m の絵の説明は省いても差し障りがないように思えます。この点が録音図書の処理と若干違ってきます。

余談ですが、旅行好きな人ならば、20,000m の高さに描かれている飛行機はイギリスとフランスが共同開発した超音速旅客機コンコルドと、すぐに分かる絵ですが、単にジェット機と読んでもかまいません。また、船の絵から線が出ていて2,000m と書かれていますが、線は間違いでしょうね。船は水の上に浮かぶものです。この図では０メートルと考えて差し支えありません。



[例３]　夏の地面と冬の地面への日光の当たり方

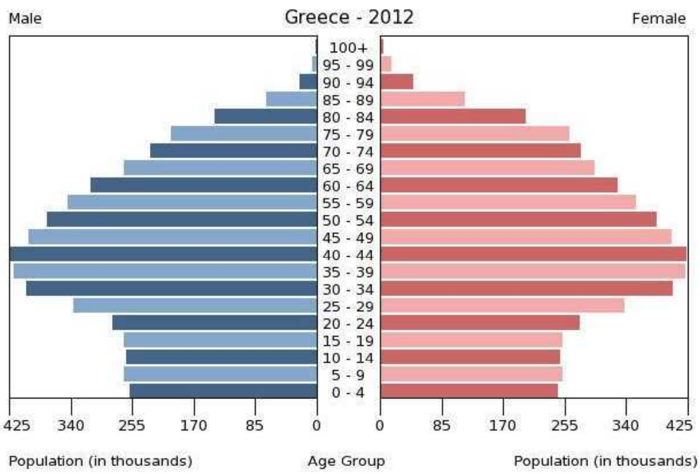
この図は、子ども向けに書かれた四季の気温の差がおきる仕組みを書いたものです。



日本では、夏は日光があたまの上の方から当たります。冬は、ななめ上の方から当たります。すると、左の絵のように、たとえば夏は地面に６本分の日光が当たるとすると、冬は同じ広さの地面には４本分しか日光が当たらないのです。
また、夏はひるまが長くて、日光もながい時間当たります。反対に、冬はひるまがみじかくて、日光の当たる時間もみじかくなります。
夏は、たくさんの日光がながい時間当たり、冬はすくない日光がみじかい時間しかあたりません。ですから、日本の夏はあたたかく、冬はさむいのです。

本文にも書かれているように「夏は日光があたまの上の方から当たり、冬は、ななめ上の方から当たる。夏は地面に６本分の日光が当たるとすると、冬は同じ広さの地面には４本分しか日光が当たらない」
目で見ると簡単なのですが説明は大変難しいです。
何度も考えたのですが、言葉で説明するのはお手上げ状態です。ぜひ皆さまの英知をお寄せ下さい。

[例４]　ギリシャ　２０１２年の人口ピラミッド



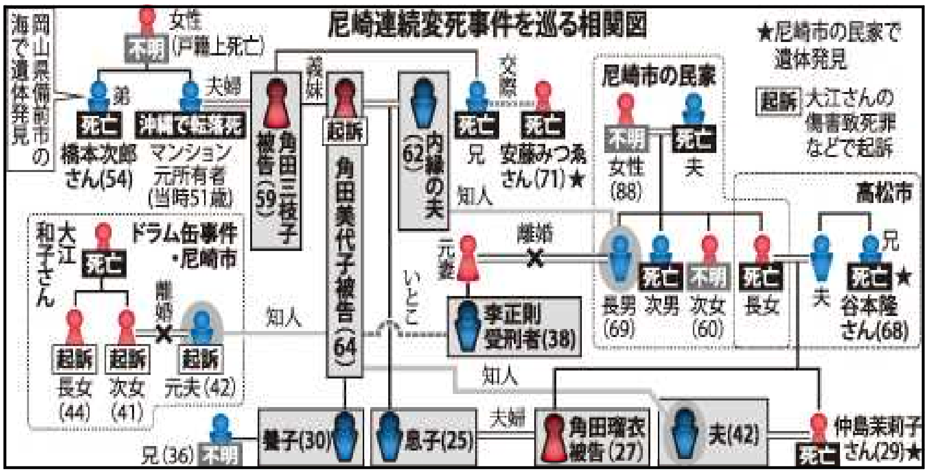
このグラフを読むのは簡単ですね。それぞれの年代のおおよその人数を下の数字から読み上げれば完了です。

でも、ちょっと待って下さい。「０－４」から「１００＋」まで２１項目もあり、それぞれ男女別の人数を読み上げなければなりません。
時間がかかるし、果たしてこれだけ多くの数字を、聞くだけで全体像が理解できるでしょうか？

よく見ると、「０－４」から「２０－２４」までは微増減を繰り替えし、その後、増加して「４０－４４」でピークを形成、その後、減少に転じています。
すべての数値を読み上げなくても、特徴的な数値を読み上げるだけで、大まかな内容が把握することができます。但し、利用者とは相談が必要ですが。

また、視覚的には３０歳代から５０歳代が多くて、未成年はやや少なく、高年齢層にいくにつれ少なくなります。表ではなくグラフにしているのは、この形を見て、人口構成の特徴を知ってほしいとの著者の意図があるのではと思います。何だか見た感じ、「家」のようにも見えるし、「矢印」のようにも見えます。
　しかし、家のイメージは人それぞれです。平屋根もあればお城のような家もあります。ただ単に「家」のような形になっているという説明では、誤解を与える可能性があります。
　相手の指先を借りて、図をなぞりながら、形を理解してもらうのも一つの方法です。単純な形なので簡単に伝わると思います。あるいは言葉で説明するのも比較的たやすいです。

［例５］　前回の課題　　尼崎連続変死:角田被告ら８人逮捕へ



　皆様はどのように読まれましたか。難しいですね。
　まずは大まかな図の説明からで良いと思います。「尼崎市で起きた事件を核に、各地に点在した行方不明事件、死体遺棄事件の数々を結ぶ相関図です」
　相関図を見ていきます。パート別に読むのも一つの方法でしょうね。事件の中心人物・角田美代子被告と死亡者や不明者との関係をひとかたまりずつ説明する方法です。
　例えば『角田美代子被告の義妹である角田三枝子被告の夫は沖縄で転落死。また夫の弟は岡山県備前市の海で遺体で発見、さらに、２人の母親は不明です』『次に、美代子被告の義妹である三枝子被告の兄は死亡、兄の交際相手である安藤みつゑさんも死亡』と言う風に。また、美代子被告と他の被告の関係も読めば少しは解読できるかも知れません。
　あるいは数におきかえる、という方法はいかがでしょうか。大胆な方法ですが、場所や人物相関ごとに枠にはめていきます。
　例えば『尼崎市のドラム缶事件では女性1名が死亡し、男性１名、女性２名が起訴。起訴された男性は美代子被告の知人』『尼崎市の民家の事件では男性2名女性1名が死亡、女性2名が不明』などおおまかな説明をし、そこから必要に応じ詳細な説明をしていく、という方法です。
　とても複雑なこの図ですが、もしほかにも方法を思いついた方は、ぜひ教えてください。

私のふるさと

サービス部　佐々木（ささき） 順子（じゅんこ）

「私のふるさと」というお題ですが、奈良は自分にとって生活の現場なので「ふるさと」として懐かしく語ることができないです。

夕方、西事業所のある肥後橋から、難波経由で近鉄電車に乗って奈良へ帰ります。生駒トンネルを抜けて、生駒駅のホームで、ドアが開きますと、ひんやりした空気が電車内に入ってきます。すると、座席で居眠りしていても、「お、生駒か。」とわかり、少しほっとします。それからさらに進んで西大寺で多くの乗客が降りて、車内ががらんとし、平城宮跡の中を電車が走りますと、空が大きく開けて、「帰ってきたぁ。」と思う、それが私にとっての奈良です。「ふるさと」というより、ホーム　アンド　アウェイのホームといった感じです。

そんな奈良で私がよく行くのが興福寺です。駅近くにあるので通り道だというだけですが・・・。興福寺は商店街から坂道を上った少し高台にあり、陽当たりがよく、地面がわりと乾いていて歩きやすいです。東大寺や春日大社周辺は、土が湿った感じがするのと対照的です。なので、散歩するときも、ついこちらに来てしまいます。

２００３年１１月に、この興福寺を来日中のチベットのダライ・ラマ１４世が訪問されたことがありました。

その日はとてもいい天気。南円堂の不空羂索（ふくうけんさく）観音を参拝されるという情報を事前にキャッチしたファン？の方々と、「えっダライ・ラマが来はるのん？！」という観光客の方々と一緒に周辺で待機していると、ぽつぽつと、若い痩せたチベット僧が姿をみせはじめ、しばらくたって黒い車が遠くに止まりダライ・ラマご本人が登場。足がお悪いようで、興福寺の偉いお坊さんに両方の手を支えられて、ゆっくりと南円堂に向かって歩いてこられました。ダライ・ラマは、

南円堂を正面に見てとても嬉しそう。早く行きたいという気持ちに足がついてこず、もどかしそうなご様子でした。ダライ・ラマは出迎えの幼稚園児を構ってあげたり、長いこと待っていてカター（チベットで相手に敬意をあらわすときに渡す白い絹のスカーフ）を振る人に近づいて、首にかけてあげたりしていました。

その後、南円堂に入って興福寺の僧侶と一緒にお経をあげられました。中の様子は見えませんでしたが、終わるまで皆じっと待っていて、出てこられた後もぞろぞろと後をついて行きました。なんだかずっと後をついて行きたかった。

そのときの光景は、ずいぶん前のことながらなぜかくっきりと覚えています。ダライ・ラマは故郷を失った人なので・・少し悲しくなるような懐かしいような・・たぶんずっと忘れないでいるだろう光景です。

寄り道・回り道

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

U：PONTE VECCHIO　ウ ポンテ ベッキオ

【所在地】　大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋 odona2F
【電話番号】　06-6205-0500
【行き方】　地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅 １０番出口 徒歩５分
【営業時間】　ランチ　11:30～14:00　ディナー　18:00～23:00　　不定休
【その他料金】　サービス料：10%
【URL】　http://www.ponte-vecchio.co.jp/

　情文から淀屋橋方面に向かって7、８分。十分歩いていける距離です。
　昼には少し時間がある、１１時４０分ごろに到着しました。入店してびっくり。お店の雰囲気に圧倒されます。エントランスには予約者の名前がずらりと書いてありました。恐る恐る、予約はしていないのですがと切り出すと、12時半までに終わるのなら大丈夫ですとの返事でした。利用される時には予約されることをお勧めします。
　席はカウンター席のほかテーブル席、個室、ボックス席も用意されており、少人数のグループでも利用できます。

　本日のパスタランチ（１５００円）は「菜の花と豆、アスパラたっぷりの春サラダ」か「イトヨリとアボカドのタルタルを乗せたジャガイモのほっくりソテー」の野菜料理２品より１品を選べます。
　またパスタは「富山県産ホタルイカと筍、フキノトウのトマトソース スパゲッティ 木の芽の香り」「小豆島オリーブ牛の正統派ミートソース　葉ゴボウ添え」「白身魚と菜の花のメッツェリングイネ　緑のオイルソース　カラスミ添え」の中から１種を選びます。パスタもサラダも季節により内容が変わります。
　食後には自家製ジェラートとコーヒーなどの飲み物が付いてきます。
　パンはおかわり自由で、備え付けのオリーブオイルをつけて食べると絶品。
　このレストランのもう一つの特徴は水も含めて飲み物はすべて有料です。まるで欧米のレストラン並みですね。店のお薦めはミネラルウォーターですが、やはり食事時はアルコールでしょう。昼間なので生ビール（500円）を一杯だけ注文。この日は暑かっただけに美味しくいただきました。
　ランチコースを注文の方に限りプラス500円でジェラートをドルチェに変更できます。なお、平日の13時以降に来店すると500円不要でコースドルチェをご用意してくれるそうです。時間に余裕のある方は、ぜひお得なサービスを利用してゆっくりとしたランチタイムを過ごすのはいかがでしょうか。

　店内には、人目を引く大きなUの字カウンターに、錫や鈍く光るステンレスを随所に使っています。テーブル、カウンターにはコードバンを使い、椅子は黒革の回転椅子、食器もこの店のためだけにデザインされたものを使用していて、洗練された大人の空間といえます。旬の食材を使った料理はこの優雅な空間と相まって美味さを引き立てます。

　帰りには同じフロアーにある白山陶器ショールームを覗いてみるのはいかがでしょうか。素敵な器と対面することができます。

情報発信

バスで巡る読めない地名　～奈良市編～

サービス部　木田（きだ）　陽子（ようこ）

前々回「私のふるさと」を書いている最中からこの企画を温めていました。対面リーディングの活動をされている方々に向けてなので、「変わった地名」を紹介するのはどうだろう、と。

というわけで今回は、奈良県民の足・路線バスの停留所名をご紹介いたします（奈良交通の関係者ではないんですけれど）。

近鉄奈良駅で行き先を眺めていると「杏中町（からももなかまち）」「鹿野園町（ろくやおんちょう）」（“ろっきゃおん”と発音する人も）「米谷町（まいたにちょう）」「下水間（しもみま）」「邑地中村（おおじなかむら）」「州見台（くにみだい）」「南加茂台（なかもだい）」（最後の２つは京都府木津川（きづがわ）市まで行く路線）など、初見では絶対に読めない地名が通り過ぎていきます。

利用者が多そうなのは「市内循環」。近鉄奈良駅とＪＲ奈良駅の両方を通り（同じ「奈良駅」でも、近鉄線からＪＲ線へは徒歩10分）、興福寺、東大寺、国立博物館、春日大社など観光地の近くを走る路線です。この沿線にも「破石町（わりいしちょう）」「高畑町（たかばたけちょう）」など、どう読むのか考えて楽しめそうな所があります。

それでは今から「杏南町（からももみなみちょう）」行きに乗ったつもりになってみましょう。

ちなみに奈良交通のICカードは「CI-CA（シーカ）」…シンボルマークは鹿。PiTaPa（ピタパ）とICOCA（イコカ）も使えますのでご安心を。

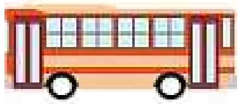
バスが近鉄奈良駅を出発してすぐの交差点は高天（たかま）という難読地名です。ここを北へ行くバスに乗ると、次は「内侍原町（なしはらちょう）」。私たちのバスは交差点を直進し、道なりに県道木津横田線（きづよこたせん）を南へ行きます。素人考えですが、この道路のあたりに平城京の左京と外京（げきょう）を分ける東四坊（ひがししぼう）大路（おおじ）があったのでは…と思います。

バスは南下を続け、「大安寺（だいあんじ）」に停車。1月23日はお寺で「ガン封じ・笹酒（ささざけ）祭り」が行われます。

その次が「南京終町（みなみきょうばてちょう）」。市内循環の路線には「北京終町（きたきょうばてちょう）」があります。平城「京」の「終」わり（＝果て）、なのでしょう。「“なんきんおわりまち”停まりますか？」と尋ねた人がいる、といういわくつきの地名です。

この後も「北神殿（きたこどの）」「神殿（こどの）」と難読地名が連続。他府県にも「神殿町」があるようですが、「愛知県豊田市神殿町（かんどのちょう）」「京都市左京区下鴨神殿町（しもがもこうどのちょう）」と、読み方が違いました。

ここでバスは西へ。「東九条町（とうくじょうちょう）」「西九条町（さいくじょうちょう）」…大阪は“にしくじょう”ですが、奈良では“さいくじょう”なんです。



「条」のつくのは他にも「一条高校前（いちじょうこうこうまえ）」「二条大路南一丁目（にじょうおおじみなみ）」「三条桧町（さんじょうひのきまち）」「四条大路（しじょうおおじ）」「五条山団地（ごじょうやまだんち）」「六条山（ろくじょうやま）」「七条町（しちじょうちょう）」「八条町地蔵前（はちじょうちょうじぞうまえ）」（本当にお地蔵さんがある）など。

春はここの桜並木がきれいなんだよねえ…と景色を見ている間にバスは住宅地に入り、終点の杏南町に到着。角を曲がって少し歩くと、もう大和郡山市です。

皆さんの身近にも、あっと驚く地名があったら、ご紹介頂けたら嬉しいです。

折角ここまで来たので、私は「角を曲がって少し歩」いた所で映画を観てこようと思います。それではこの辺で！

２０１４年度　第２７回専門音訳講習会（東洋医学コース）
受講者募集のお知らせ

学術・専門資料の音訳に対するニーズが高まると同時に、コミュニケーション支援としての‘音訳’の役割が重要視されています。
本講習会では、近畿在住の音訳ボランティアを対象に、様々な図書の音訳依頼に応えられるよう、東洋医学資料の読み方について、基本的な知識と技術の講習を行います。
講習終了後、各地域の施設・団体において、より高度な技術を要する図書の音訳に携わってただきます。
対面で活動頂いているボランティアでも、興味がおありの方はお申し込みください。
※日程が迫っておりますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

日程：6月１３日・２７日・7月４日・１１日・１８日（各金曜日・全5回）
内容：東洋医学の基礎知識・専門用語、東洋医学資料の読み方
会場：日本ライトハウス情報文化センター　４階会議室
受講料：１，０００円
申込先：日本ライトハウス情報文化センター　録音製作係
（お申込時、当センターで活動中の方はその旨お伝えください）
ＴＥＬ：０６－６４４１－１０１７
ＦＡＸ：０６－６４４１－１０２７

♪♪４月から担当が変わりました♪♪

４月から新たに対面リーディングの担当となりました福田直樹です。
３月までは本館５階のサービスフロアでグッズの販売や見積りの作成などを担当していました。
今はまだ新しい環境と仕事に慣れることで精一杯ですが、より良いサービスを提供していけるよう、自分なりに努力していきたく思います。
まだまだ何かと至らないことも多いかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。
（対面リーディングの担当は木田、谷口、福田の３人になりました）

梅雨がすぎるとすぐに夏。ついこの間桜の便りを聞いたと思っていたのに、季節の移ろいを早く感じます。
それでも新緑には癒やされますね（T）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6441-0015（代表）
06-6441-0039（サービス部）